

“デジタル時代の映像文学”

アニメーション監督 新海誠、中国で初展覧会を開催 北京から開始、3年間中国各地を巡回

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、2015年3月7日から29日にかけて、国際交流基金北京日本文化センターにて、熱烈なファンの声にこたえ、日本のアニメーション監督である新海誠監督の作品を紹介する展覧会を中国で初めて開催します。北京での展覧会を皮切りに、今後約3年をかけて中国国内を巡回する予定です。詳細につきましては、順次ホームページで発表します。



『言の葉の庭』(2013)
(c)Makoto Shinkai / CoMix Wave Films

“デジタル時代の映像文学”と称される、その美しい映像と叙情的なストーリーで、世界を魅了する新海誠監督。本展示では、新海監督の劇場映画『雲のむこう、約束の場所』『秒速5センチメートル』『星を追う子ども』『言の葉の庭』の4作品を取り上げ、各作品の紹介をはじめ、公開当時のポスター、絵コンテ、キャラクター設定、作画(レイアウトや原画の複製)など、作品の制作過程を網羅した展示を行います。さらに、作品に登場する背景美術と記念撮影ができるなど観客体験型コーナーの設置や、本編映像や作品のメイキング映像、監督やキャストインタビューの上映を行います。会場には、映画のキャラクターアイコンが手に入るQRコードも来場者特典として設置します。

本日28日からは、展覧会開催に先駆けて特設サイトをオープンし、中国のファンから新海誠監督への質問を募集します(締切2月12日)。応募頂いた中から厳選した質問を新海監督にお答えいただき、展示会場にて回答を掲載する予定です。なお、回答は会期終了後に特設サイトでも掲載を予定しています。

「新海誠」展 一劇場映画にみる新海誠の世界一

- 【会期】:** 2015年3月7日(土)~3月29日(日)
【会場】: 国際交流基金北京日本文化センター
【主催】: 国際交流基金
【協力】: 株式会社コミックス・ウェブ・フィルム
【展示作品】: 『雲のむこう、約束の場所』、『秒速5センチメートル』、『星を追う子ども』、『言の葉の庭』
【特設サイト】: <http://site.douban.com/249966/> (中国語)

新海誠(しんかい・まこと)

1973年、長野県生まれ。アニメーション監督。2002年、個人で制作した短編作品『ほしのこえ』でデビューし、多数の賞を受賞。その後の発表作品でも日本だけでなく海外でも賞を受賞している。2012年には、国際交流基金の事業にて2008年に行った中東各地でのアニメ制作ワークショップが評価され、内閣官房国家戦略室より「世界で活躍し『日本』を発信する日本人」として感謝状が授与されるなど、次世代の監督として国内外で高い評価と支持を受けている。



●主催者・本事業に関するお問い合わせ: 国際交流基金 文化事業部アジア・大洋州チーム(担当:加藤)

Tel: 03-5369-6062 / Fax: 03-5369-6038

●取材に関するお問い合わせ: コミュニケーションセンター(担当:川久保、麦谷)

Tel: 03-5369-6089 / Fax: 03-5369-6044 / E-mail: press@jpf.go.jp